



Log Partition Monitoring の設定

Log Partition Monitoring は、次に示す設定済みのしきい値を使用して、1 台のサーバ（またはクラスター内のすべてのサーバ）上のログパーティションのディスク使用状況を 5 分ごとにモニタします。

- `LogPartitionLowWaterMarkExceeded` (ディスク使用率 %): ディスク使用率が指定のパーセンテージを超えると、LPM はすべてのアラームメッセージを `syslog` に送信し、RTMT Alert Central にアラートを送信します。ログファイルを保存し、ディスクスペースを回復するには、RTMT で `Trace & Log Central` のオプションを使用できます。
- `LogPartitionHighWaterMarkExceeded` (ディスク使用率 %): ディスク使用率が指定のパーセンテージを超えると、LPM はすべてのアラームメッセージを `syslog` に送信し、RTMT Alert Central にアラートを送信します。

Log Partition Monitoring の有効化

Log Partition Monitoring を有効にするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Presence Server Serviceability で、**Tools > Control Center > Network Services** の順に選択します。
- ステップ 2** Server ドロップダウン リスト ボックスから、ディスク使用状況をモニタする対象のサーバを選択します。
- ステップ 3** CCM Services の下で、Cisco Log Partition Monitoring Tool (LPM) の状況を確認します。
- ステップ 4** LPM が実行されていない場合は、Cisco LPM の横にあるオプション ボタンをクリックし、Start ボタンをクリックします。

Log Partition Monitoring の設定

Log Partitioning Monitoring を設定するには、Alert Central で、LogPartitionLowWaterMarkExceeded アラートおよび LogPartitionHighWaterMarkExceeded アラートのアラート プロパティを設定します。[P.8-4 の「アラートプロパティの設定」](#)を参照してください。

追加情報

[P.13-2 の「関連項目」](#)を参照してください。

関連項目

- 『Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド』の「[Log Partition Monitoring](#)」
- 『Cisco Unified CallManager Serviceability システム ガイド』の「[RTMT でのアラート設定](#)」
- [RTMT のトレース収集とログ集中管理 \(P.10-1\)](#)